



日本空港ビルディング株式会社



HANEDA
ROBOTICS
LAB

2016年9月20日

日本空港ビルディング株式会社

Haneda Robotics Lab

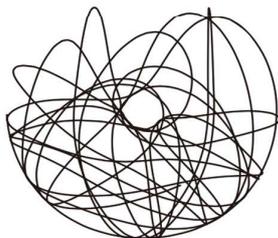
ロボットの社会実装にむけた国内空港初の取り組み
「Haneda Robotics Lab」プロジェクト始動
～羽田空港ロボット実験プロジェクト 2016～
本日(9月20日)より第1期参加事業者の公募を開始!

羽田空港を管理・運営する日本空港ビルディング株式会社(所在地:東京都大田区羽田空港 3-3-2、代表者:代表取締役社長 横田信秋、以下当社)は、「Haneda Robotics Lab(ハネダ ロボティクス ラボ)」を設置し、ロボットの技術検証を目的に、羽田空港でロボット製品(プロトタイプ含む)の実験導入を行う「羽田空港ロボット実験プロジェクト 2016」を実施いたします。

また、プロジェクトの実施にあたり、本日より第1期参加事業者の公募を開始いたします。

なお、本プロジェクトは、経済産業省「ロボット導入実証事業」を活用し、政府が進める「改革2020」プロジェクトの実現に向けた取り組みの一つとして、国土交通省および経済産業省と連携して実施するものです。

HANEDA
ROBOTICS
LAB



■プロジェクトの背景と目的

2020 年に向け、羽田空港ではサービス品質および利用者満足度の向上に努めておりますが、日本における労働生産人口の減少が予想される中、羽田空港のさまざまな業務課題を解決していくためにはロボット技術の活用が不可欠であり、当社はこれまでも各種ロボットの導入や実証実験を推進してまいりました。

社会のあらゆる場面においてロボットテクノロジーが実装されるためには、事業者や研究機関がより生活者に近いリアルな環境でユーザーテストを積み重ね、技術を収斂していくことが重要であり、年間 7500 万人以上が利用する羽田空港は、テスト環境として非常に大きな価値をもつ場だといえます。

当社は、本プロジェクトを通してロボットの技術面・法規面での課題が洗い出され、広く知見が共有されることで、日本社会におけるロボットテクノロジーの普及に貢献してまいりたいと考えております。また、羽田空港をさまざまな最先端ロボットの活用の場とし、空港を利用される多くの方々にロボットを身近に感じていただくとともに、日本の最先端技術が世界中へ発信されていくことを目指してまいります。

<羽田空港のロボット活用事例>



2015 年 9 月より、CYBERDYNE 株式会社のロボットスーツ HAL®作業支援用(腰タイプ)をあらゆる作業の補助に活用しております。



広大な床面の清掃業務の品質向上と効率化を目的として、清掃業務におけるロボット活用を推進しております。

■公募要項

- 募集期間 : 2016年9月20日(火)～10月13日(木)
- 実験期間 : 2016年11月初旬～2017年1月末日(予定)
- 募集カテゴリ : 1. 案内
2. 移動支援
3. 清掃
- 実証実験場所 : 羽田空港国内線第2旅客ターミナル 南側出発ロビー (予定)



■特設サイトについて

本プロジェクトに関する基本情報や公募の詳細については、特設サイトよりご確認ください。
実験期間中の様子なども定期的に発信してまいります。

- 特設サイト URL : <https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/hanedaroboticslab/>



公募締め切りまであと28日

01 HANEDA ROBOTICS LABとは

日本社会へのロボットテクノロジーの普及と世界への発信を目指して

2020年に向け、日本のあらゆる場所でもより一層のサービス向上、利用者の満足度向上が求められています。一方で、日本は労働生産人口の減少という課題を抱えています。

そこで、羽田空港国内線旅客ターミナルビルを管理運営する日本空港ビルディングでは、これからはロボット技術の活用が不可欠だと考え、政府が進める「国産2020」プロジェクトの実現に向けた取組みの一つとして、国土交通省および経済産業省との連携のもと、「Haneda Robotics Lab」を開設しました。羽田空港で様々なロボットを活用するとともに、ロボット開発者にユーザーの機会を提供することはもちろん、空港を利用される皆さまにロボットを身近に感じていただきながら、問題点を洗い出し、その知見を共有します。

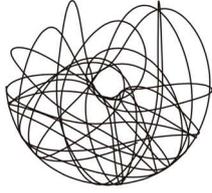
私たち日本空港ビルディングは、Haneda Robotics Labの活動を通して、日本社会へのロボットテクノロジーの普及と世界への発信に貢献することを目標とします。

02 ロボット実証実験 公募要項

羽田空港 ロボット実験プロジェクト 2016

Haneda Robotics Labは、羽田空港へのロボットの導入をより加速させていくため、テーマに沿ったロボット技術を広く募集し、空港内での実験導入を行う「羽田空港ロボット実験プロジェクト 2016」を始動します。

■Haneda Robotics Lab ロゴについて



HANEDA
ROBOTICS
LAB

Haneda Robotics Lab のロゴマークは、二重振り子と呼ばれるふたつの振り子を連結した構造物の運動の軌跡で描かれています。ロボット技術の社会実装に向け、「人間」と「ロボット」のふたつの要素を「羽田空港」という環境において合わせたとき、そこでどのようなことが起こるのか。人間とロボットの間でどのような関係が築かれるのか。Haneda Robotics Lab は、それを観測し検証することをミッションとしています。「人間」と「ロボット」というふたつの関係性を二重振り子に置き換えることで、この Haneda Robotics Lab のミッションを表現しています。

■事業者・開発者向け説明会

本プロジェクトや公募の詳細について、下記のとおり説明会を実施いたします。参加を希望される事業者・開発者の皆さまは、事前にメールにてお申し込みください。

- 日時 : 2016年9月30日(金) 13:00~14:30(12:30 受付開始)
- 場所 : 羽田空港国内線第1旅客ターミナル 6階 ギャラクシーホール
https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/service_facilities/multipurpose_hall/
- 申し込み方法 : 企業名、参加代表者名、参加人数をご明記いただき9月28日(水)まで
公募窓口 (haneda_robotlab@jat-co.com)宛てにメールでお申し込みください。

■Haneda Robotics Lab プロジェクトについて

- 主催 : 日本空港ビルディング株式会社
- 事務局運営 : 株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス

■事業者・開発者向けお問い合わせ先

Haneda Robotics Lab 公募窓口(日本空港ビルディング株式会社)

Mail: haneda_robotlab@jat-co.com